

平成29年4月七管内漁船海難 計11隻

【衝突】4月の漁船海難11隻のうち**6隻**が衝突！

漁船A丸(船長1人乗船)は、夕刻漁港を出港、漁場向け航行中に錨泊していたプレジャーボートB丸と衝突しました。

A丸は西日の影響で前方が見えにくい状況でしたが、レーダー映像に船影は映っていなかったため、A丸の前方には船がないものだと思い込んでしまい、また、B丸も接近してくるA丸を確認していましたが、A丸が避けてくれるだろうと見張りを途中でやめてしまったことにより起きたものです。

今回の衝突海難は双方が**嚴重な見張りをしていれば防ぐ**ことができた事故でした。

西日などの影響で前方が見えにくい状況になってしまったら、レーダーだけに頼ることなく、速力を落とす又は時々、コースを変えるなどの工夫をして見張りを強化しましょう！



見張りをおろそかにしていませんか？

©JCGF



A丸と衝突したB丸の損傷状況

漁船海難隻数 (速報値)		
衝突	★	6
機関故障	▲	2
浸水	■	2
その他	●	1
合計11隻		

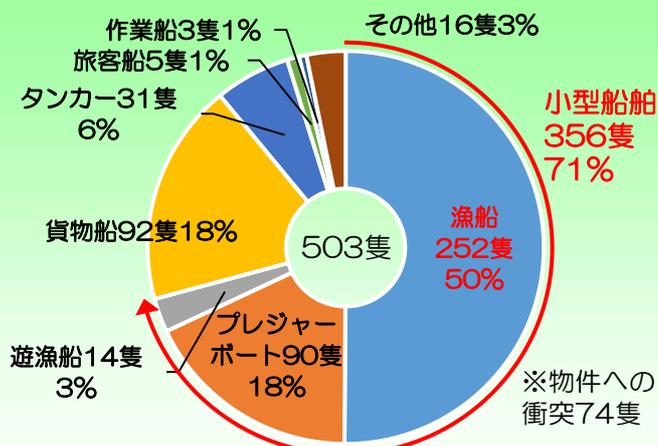
	県別内訳	
	4月	H29累計
山口県	2	4
福岡県	1	4
佐賀県	2	4
長崎県	3	12
大分県	3	5

県別内訳表は、各県に所在する海上保安部署の担当海域にて発生した海難の合計数を示しています。数値は速報値です。

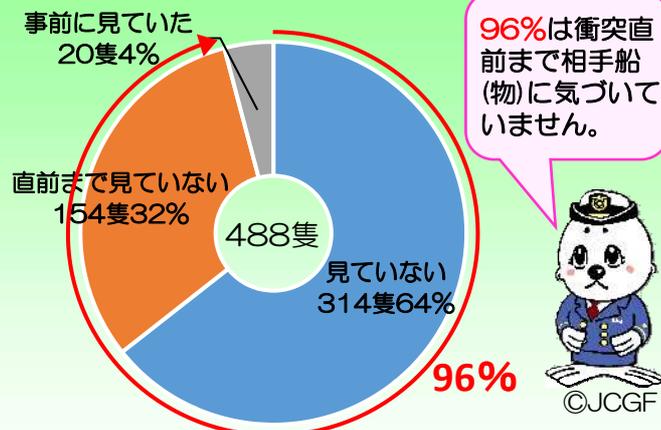


漁船が絡む衝突事故は “なぜ多い！！”

漁船：物件以外の衝突相手船舶種類 (2007年～2016年合計)



漁船：衝突・乗揚げ時見張り状況 (2007年～2016年合計)



漁船が衝突する相手の**7割**が小型船舶です。また、衝突・乗揚げ時の見張り状況について、**96%**が相手船(物)に衝突・乗揚げ直前まで気付いていません。プレジャーボート等の小型船舶を海で多く見掛けるシーズン到来です。常に見張りを行い、衝突事故などを未然に防ぎましょう！

